



令和3年8月2日

ふるさと教育

【地域課題探究型学習推進事業】

国際学会で笠原川の魚を増やす取り組みを発表しました！

本校では2020年度から、2年生の総合的な探究の時間に笠原川で小さな自然再生の取り組みを行っています

(https://school.gifu-net.ed.jp/tajimi-hs/26_furusato/20200808.pdf)。

2021年7月10日から中国のフフホトで開かれた東アジア生態学会:The 9th EAFES International Congressに、本校の3年生の2名の生徒がオンライン参加しました。私たちの発表は、“Indigenous culture and nature conservation: a legacy for the future (Min Qingwen: Principal organizer)”のセッションで7月11日にポスター発表を行いました。

発表タイトルは「River ecosystem conservation education through hands-on nature experience and scientific verification.」です。



英語での基調講演を聞く様子

11日には、Plenary Sessionにも参加し、

“Impacts of global change on biological populations in China (Zhang Zhibin)”

“Ecological approaches to emerging infections disease oriented from wildlife (Kimiko Okabe)”の講演を聞きました。

本活動は、多治見ロータリークラブ、河川基金、多治見市土岐川観察館、土木研究所自然共生研究センターの支援を受けて実施しています。ご支援ありがとうございます。

担当：佐賀達矢